

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ **2026/2/4**

「教わる」から「学ぶ」へ！ 自立した学習者になるために

本校のグラディエーションポリシーに『教わる』から『学ぶ』へ！があります。「先生に言われたからやる」「テストがあるから解く」。そんな受動的な学びから卒業しませんか？受験勉強や社会に出てからの学びは自分自身で動かないとなかなか難しい。だから、今のうちに「自立した学習者」を意識して、取り組んでほしい。今号は「自ら学ぶ、自立した学習者へ」号です。（編集 教頭）

1. 学びを「自分事」に変える思考の習慣

すべての学び、活動に「意味」「意義」を持たせるために、次の3つの問いを自分に投げかける習慣（メタ認知）をつけよう！

①意味・意義を見出す・「なぜこれが必要か？」を疑う

公式を覚える前に「これが社会の何の役に立つのか？」と一瞬考える。受験勉強なら「志望校の傾向、配点、問題レベルとどう繋がるか？」を分析する。目的が見えると、作業は「戦略」に変わります。

②「昨日の自分」と比較する～最新の自分が最高の自分に～

他人との比較は焦りを生むだけです。「昨日解けなかった問題が、自力で解けるようになったか」という小さな成長を言語化しましょう。毎晩寝る前に、「今日は何ができるようになったか」ふりかえる時間を作る。

③「教えるつもり」で学ぶ

一番の学び、そして定着は、「他人に説明すること」です。友人に教える、あるいは架空の生徒に授業をするつもりでノートをまとめると、理解の穴が明確になります。

2. 「情報アンテナ」の感度を上げるコツ

学校にはチャンスが溢れている！アンテナが低いとチャンスを逃してしまう。感度を上げるための具体的なアクションとは。

①「予告」を逃さない

先生が話す「来週はこんなことやるよ」「最近このニュースが面白い」「こういう勉強の仕方でやってごらん」「ここが大事、なぜここが大事なのか」という言葉は、次の学びへのヒントです。



②ノートの端にメモする癖をつける

自分専用の「探究ポスト」を持つ掲示板、Classroom、クラッシーからの配布物。流れてくる情報を「自分に関係あるかも？」というフィルターで見るだけで、視界が変わります。特に探究活動では、自分の興味と学校の情報を結びつける「強引さ」が大切です。

③質問を「セット」で持っておく

「わかりません」ではなく、「ここまで考えたのですが、ここから先がわかりません」という聞き方に変える。これだけで、先生から引き出せる情報の質が劇的に上がります。

3 . 自立へのロードマップ～以下の4点を“意識”せよ～

行動に移すコツは、「やる気が出るのを待たないこと」。やる気は動いた後にやってくる。まずは「ハードルを下げてでも、最初の一步だけ踏み出す」。その小さな一步を“自分で決めて”実行すること自体が、「自立した学習者」への確実なステップです。



	①日常の授業	②課題・宿題	③受験勉強	④探究活動
キャッチコピー	予習を「宝探し」に	作業を「筋トレ」に	逆算を「ゲームの攻略」に	疑問を「プロジェクト」に
具体策	予習で「わからない場所」を特定し、授業を「答え合わせの場」にする	提出期限を守るだけでなく、その課題が「自分の弱点のどこを補強するか」を意識する	志望校合格から逆算し、今週・今日のノルマを自分で設計する	既存の答えを探すのではなく、自分なりの「問い」を立てて、周囲を巻き込む
具体策に向かうための「きっかけづくり」	○「3分・1箇所」ルール まずはここからスタートしてみよう。 前日の夜や休み時間に、教科書をパラパラめくり「ここ、意味不明だな」という場所に付箋を数枚貼るだけでOKとする	○TODOの細分化 「数学のワーク」ではなく「数学ワークの3問だけ」と、ハードルを下げる、具体化する ○振り返りスタンプ 終わった後、ノートの隅に 「◎（余裕）」 「○（普通）」 「△（要再挑戦）」 と自分の感触を記録する	○「合格体験記」の逆読み 合格者が「この時期に何をしていたか」を調べ、それを自分のスケジュール帳に書き写してみる ○見える化 勉強時間を記録するアプリや手帳を使い、積み上げた時間を可視化する	○「なぜ？」のメモ 日常で感じた「違和感」や「不便」をスマホのメモに1日1個残す ○他者への壁打ち 先生や友人に「今、こんなことに興味があるんだけど、どう思う？」と、未完成のまま話してみる
具体策に向かうための「みんなの意識」	「全部理解しよう」ではなく、「授業中に解決すべきクイズ」を見つけに行く感覚を持つ。付箋を貼った場所が授業で解説された瞬間、脳は「情報を拾うアンテナ」として機能します	「提出するため」ではなく、「今の自分のレベルを測るテスト」だと意識する。△がついた問題こそが、成績を上げる「伸びしろ」の塊です	「まだこんなにある」ではなく「今日これをやれば、合格へ一歩近づく」という前進感を大切にする。受験勉強は、自分をアップデートし続ける攻略ゲームだと捉え直します	「立派な研究をしよう」と思わず「自分が一番知りたいことを突き詰める贅沢」だと考える。上っ面な問いから始まって、それを探究していくうちに、ブラッシュアップされ問いも深まっていく。探究は、自分の「知的好奇心」を形にする、自分だけのストーリーを作るチャンスです

★校長より★ 皆さんは受験勉強には、どんな楽しみがあると思いますか？私は受験勉強の楽しみは「目標設定や学習の手段、計画等を自分で決め、自分で調整していくこと」だと思います。「目標に向かって勉強を続けたら、今はこんな状況だ。じゃあ、ここからはこうしよう。」こういったことを考えるのはたいへんですが、楽しくもあります。学習方法は何通りもあります。自分に最適な学習方法は自分しか分かりません。自分で考えた色々な方法にチャレンジすることで、受験勉強が「自分ごと」となります。是非、挑戦してみてください。（校長 原 拓史）